

# 山梨の山の魅力とその恵み

本県は、世界遺産富士山をはじめ日本屈指の名峰を有する山岳県であり、県土の約8割を森林が占める国内有数の森林県です。6月には南アルプスに加え、甲武信ヶ岳周辺地域がユネスコエコパークに登録され、8月には本県において『山の日』記念全国大会』が開催されるなど、山梨の多様な自然や文化に注目が集まっています。山梨の山や森林の魅力を見つめ直してみませんか。



## 山梨の山を楽しみ、未来へつなぐ

里山から名峰と称される山々までが連なり、その素晴らしい自然から享受する恩恵や文化が大切に受け継がれてきた山梨。今回は『山の日』記念全国大会』のトークショーに出演する山岳ライターの小林千穂さんに、山梨の山の魅力やその恵みについて語ってもらいました。

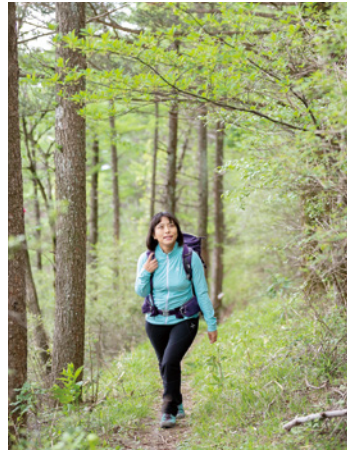
## 山梨の恵まれた山や自然を誇りに思ってもらいたい

山梨の山の魅力といえば、まず富士山があること。そして富士山に加え北岳、間ノ岳（北岳）という日本で標高が高いトップ3の山があることです。そして山との距離が近く、すぐに自然と触れ合えることも素晴らしいことだと思います。私は結婚を機に山梨に移住したのですが、父が上野原市出身で、母のルーツも忍野村にあります。また、本格的な登山を初体験した山が富士山だったこともあり、山梨には以前から縁を感じていました。今は朝起きると窓から富士山を見て、玄関から一歩外に出れば南アルプスや八ヶ岳の山並みが見えるというぜいたくな暮らしができるので、山梨に移住して本当に良かったと思っています。



山梨は首都圏とのアクセスが良いので、山で出会う人は首都圏の方が多く、皆さん富士山が見えると歓声を上





「私の誕生日は8月11日なので、山の日が8月11日に決まったときは、すごくうれしかったです。偶然もらったので、もっと山の魅力をPRしなくてはと使命感を感じているんですよ」と爽やかな笑顔を見せる小林さん

この日は、御坂山塊をトレッキング。新緑の新道峠からは富士山と河口湖を望める

山岳ライター

## 小林 千穂さん

Chiho Kobayashi

1975年8月11日生まれ。甲府市在住。

山好きの父の影響で幼い頃から山に親しみ、里山歩きから雪山、海外遠征まで幅広く登山を楽しんでいる。山小屋スタッフ、山岳写真家のアシスタントを経て、現在はフリーの山岳ライターとして活躍。

「山と溪谷」「ワンダーフォーゲル」など登山専門誌に多数寄稿。著書に「失敗しない山登り」（講談社）「DVD登山ガイド穂高」（山と溪谷社）などがある。日本山岳ガイド協会認定登山ガイド。山の日アンバサダー。



笛吹市芦川のスズラン群生地を散策



## 山から受ける恩恵を知り、未来へつなぐ大切さ

日本は山国ですので、山と深く関わっている。富士山や南アルプスが見えるというのは、山梨県民にとっては当たり前のことですが、他県に住む人にとっては、すごく感動的で特別なこと

なんです。県民の皆さんには山梨の山に誇りを持ち、山梨には素晴らしい自然がたくさんあることを心にとどめてほしいと思います。

日本は山国ですので、山と深く関わっている。富士山や南アルプスが見えるというのは、山梨県民にとっては当たり前のことですが、他県に住む人にとっては、すごく感動的で特別なこと

なんです。県民の皆さんには山梨の山に誇りを持ち、山梨には素晴らしい自然がたくさんあることを心にとどめてほしいと思います。

出で、一部の電気は風や水などの自然から生まれています。つまり私たちは山や自然からエネルギーをもらうことで、生活が成り立っています。私にとって「山の日」は、普段の生活を見直し、自然のありがたさを改めて感じる日になっています。さらに今年も、甲武信ヶ岳周辺地域がユネスコエコパークに登録されました。自然の恵みや自然の中で過ごす楽しさを、今だけでなく50年後、100年後の人々にもつなげていくために、何ができるか私自身も考えていきたいです。

山梨は周囲360度を山に囲まれ、私も登っていない魅力的な山がまだあるので、登ったら情報発信していきたいと思っています。皆さんも山に登ったら情報発信してみてください。そこから山登りの楽しさが伝わり、山に親しむ輪が広がっていくといいなと思っています。山梨には富士山をはじめ、南アル

① スマートフォンまたはタブレットに「aug!」のARアプリをダウンロード（無料）② アプリを起動③ 右の写真にかざすと、自動的に動画が再生されます。

aug!(オーブ)



動画で見てみよう! 小林千穂さんのインタビュー



# やまなしで過ごす「山の日」とは

日本有数の山岳県である本県は、山や森林が育む水や空気、多様な生態系、山岳景観、自然豊かな住環境などを有しています。その魅力を広く発信し、より多くの方に山梨の山や森林に親しむ機会を提供し、山の恩恵を実感してもらえよう、県では『やまなしで過ごす「山の日」』事業を実施しています。

## 8月11日は山の恵みに感謝する「山の日」

本県は富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父連峰など、四方を山々に囲まれ、県土の78%を森林が占める素晴らしい自然環境に恵まれています。この自然からもたらされる恩恵は、県民が永続的に享受できなくてはなりません。そこで、県では平成9年に自然との共生社会の構築を目指し『やまなし「山の日」』を定めました。また、全国に先駆けて「山の日」が国民の祝日となるように、国や他の都道府県に働き掛

けてきました。こうした活動が実を結び、平成28年に国民の祝日「山の日」が制定されました。それを契機に、県では『やまなしで過ごす「山の日」』事業をスタートしました。この事業は、「山に親しむ」「山に学ぶ」「山と生きる」という三つのコンセプトの下、県民はもとより、県外の方々に対しても「山の日」の意義や山梨の山や森林、それらから生み出される自然の恵みや美しい山岳景観などの魅力を発信しています。



森林環境総務課  
帯金 伸至 主任

具体的には、毎年8月11日の「山の日」を中心に、国や市町村、関係団体と連携を図りながら、県内各地で登山やトレッキング、キャンプ、木工体験などのイベントを実施しています。今年も「第4回「山の日」記念全国大会」を本県で開催し、全国の皆さんに、本県の山や森林の魅力を実感していただく絶好の機会を迎えています。

北岳



# 「山の日」記念全国大会 山梨県で開催

『「山の日」記念全国大会』は、平成28年から毎年「山の日」に合わせて開催されています。国民の祝日「山の日」制定の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を周知し、山に関する歴史や文化の継承、環境保全、自然災害への対応など、さまざまな問題の解決と山の未来の在り方について考える機会となっています。

第4回大会は、8月11日に本県で開催します。大会を通じて、山梨の山や森林の魅力と、県が実施している山や森林に関する先進的な取り組みを全国に向けて発信します。本大会を契機に、山梨の山や森林のファンの裾野を全国に広げたいと思っています。



ハケ岳



みずがきやま 瑞牆山



大菩薩嶺

## 第4回「山の日」記念全国大会

山に親しみ 山に学び 山と生きる ～持続可能な未来へ～



【記念式典・トークショー】(参加者一般公募は終了しています)

8月11日(日・祝)

甲府市総合市民会館 [山の都アリーナ]

山梨の山や森林の魅力、森林を守り育てる活動、水の魅力などを映像や現場に携わる方のメッセージを交えて発信。日本を代表する山岳県・森林県である山梨県から、山の恩恵への感謝と、それを守り育てる思いを未来へ引き継いでいきます。また、今号でお話を伺った山岳ライター小林千穂さんらによるトークショーも行われます。

【山の都歓迎フェスティバル】(参加自由)

8月11日(日・祝) 午前11時～午後9時 ※一部ブースは午後4時まで

舞鶴城公園および周辺 小江戸甲府の夏祭りと同様開催

- ◆<sup>かえん</sup>富士山火焰太鼓・山梨トロンボーン倶楽部・山梨県警察音楽隊によるステージ
- ◆森林整備や素材生産などのパネル展示
- ◆丸太切りやカンナ削りなどの体験コーナー
- ◆県有林材を使用したFSC認証製品の販売 など



# 美しい森林景観で皆さんをお迎えしたい

県では、多くの観光客や登山者の方に美しい森林景観を楽しんでもらえるよう、森林・山岳エリアの観光地における眺望ポイントでの伐採や歩道の整備などを通して、良好な環境の保全、創出に取り組んでいます。

## 県有林を対象に「おもてなし森林景観創出事業」を実施

平成23年12月に施行した「おもてなしのやまなし観光振興条例」では、おもてなしの推進の柱として「良好な環境の保全、創出」を掲げています。

本事業は、県有林の樹木の成長や雑木などにより失われた眺望ポイントでの伐採や歩道の整備、展望施設やベンチ、案内板などの設置・修繕を行い、美しい森林景観を創出するものです。

整備箇所は、有識者や環境省の自然保護官、写真家などで構成する「おもてなし森林景観選定会議」による検討を経て選定しています。これまで17市町村55カ所の整備を実施してきました。整備した箇所では、写真愛好家や景観を楽しむ観光客が増加したり、景観を生かしたスポーツイベントが開催されたりするなど、地域の活性化につながる成果も見られるようになりました。



観光部 倉本 洋 主幹

来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、本県の美しい自然環境を積極的に世界に向けて発信したいと思っています。今後もおもてなしするために、県民と行政が一体となり、本事業を盛り上げていきたいと考えています。県民の皆さんも、県有林における眺望ポイントについて要望などがありましたら、窓口となる各市町村に情報をお寄せください。

「おもてなし森林景観創出事業」により改善された眺望ポイント

天下茶屋(富士河口湖町)



着工前



完成

大峠(大月市)



着工前



完成

中ノ倉峠(身延町)



着工前



完成



# 登山は安全にできてこそ楽しめる

本県には高山から低山まで、登山するのに魅力的な山がたくさんあります。安全な登山を楽しむ人がいる一方、山岳遭難事故が後を絶ちません。そこで山岳警備安全対策隊長の宮城隆栄さんに、隊の活動や登山に際して心掛けるべきことについて伺いました。

## 「山岳警備安全対策隊」が担う責務

「山岳警備安全対策隊」は「昨年に過去最高の遭難件数を記録した現状を受け、昨年3月、警察本部地域課内に設置されました。主な活動は、県警ホームページなどでの情報発信や登山口などに出向いて遭難防止の呼び掛けやチラシ配布を行う遭難防止活動、標高が高く急峻な山域において、高度な救助技術を要する場合の救助活動です。また、県下12の警察署などに在籍する山岳救助隊員に対する訓練指導

## 救助は、すぐに向かえない場合がある

通報を受けると県警ヘリコプターや地上救助隊の出動を検討しますが、ヘリコプターは、標高の高い山岳地帯や急峻な岩稜帯ではホバリングが困難であったり、また悪天候や日没後には出動できない場合があります。さらに遭難が複数発生した際には、遭難者の容体などに応じて救助の優先順位を決めるため、救助までに時間を要する場合もあります。地上救助隊が出動しても、遭難地点でのビバーク(野宿)をお願いすることも



山梨県警察本部地域課 山岳警備安全対策隊長 宮城 隆栄 警視

あるので、登山される際は慎重に万全な準備をしてください。



県警発行冊子「山岳情報」ホームページでも公開中



山岳遭難防止のための7項目 外国語版もホームページに掲載中



実際の救助を想定した山岳救助訓練

## 山に関する情報の収集と万全な事前準備を

登る前から登山は始まっています。日ごろの体力づくりや、登山ルートの選定、その行程に見合った装備品の準備、気象状況の確認、登山計画書の提出など、ゆとりある計画で入山してください。自分自身の体調や山の状況は刻々と変化していきます。当日の天候や体調が良くなければ、無理せず中止するようお願いいたします。また、県警で発行している「山岳情報」なども情報収集に活用してください。登山計画書の提出にはスマートフォンなどから簡単に利用できる登山届出システムの「コンパス」が便利です。

コンパス (登山届出システム)

「山と自然ネットワーク コンパス」

Compass

http://www.mt-compass.com

警察や自治体と連携し 全国山域の登山届けが 窓口ひとつでできます！

インターネットで登山届を提出できるほか、登山届・下山通知を家族や友人、警察などと共有できるシステムです。

登山届コンパス

登山計画書の提出が義務となる山域 (12月1日～翌3月31日までの期間指定)

富士山(3000m、おおむね8合目以上)  
南アルプス(白根三山、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳など)  
八ヶ岳(赤岳、権現岳、編笠山)

【問い合わせ先】  
観光資源課 TEL 055-223-1576

山梨の登山・山岳情報ポータル